聖化

2026.8.10
No.72

Japan Holiness Association

［発行］日本聖化協力会



原点に立ち明日を拓くＪＨＡ

日本聖化協力会 会長　工藤 弘雄

日本聖化協力会40周年記念大会が昨秋、ロン・スミス博士を主講師にお招きし開催され、早や半年以上が経ちました。コロナ禍の試練を経て、各種の聖会や大会が動画配信を併用して開かれるようになる中で、今大会も動画配信とともに会場のインマヌエル中目黒キリスト教会に多くの参加者を得て実りある大会が開かれたことを心から感謝致しております。

ロン・スミス博士は、講演において今日の文化的背景を念頭にあらゆる形での「神のことばの宣教」を強調されました。アズベリー大学を起こしたモリソン博士の文書伝道の取り組みや、ロバート・コールマン博士のスーパー前での街頭伝道のエピソード、また各聖化大会で語られた「鷲の翼に乗って」のご自身の証しなどは非常にインパクトのあるもので、今も心に響いております。

40名に及ぶレセプションでは聖化交友会に相応しい交わりが形成され、パネルディスカッションでは「明日を拓くＪＨＡ」への期待が高まり、「神の祝祷」のメッセージは祝福に満ちた大会の総括となりました。その中で会場を揺り動かす連合聖歌隊の「ハレルヤ・コーラス」は圧巻でした。

「原点に立ち明日を拓くＪＨＡ」の大会標語にあるように、今日本聖化協力会に求められている課題はここにあるのではないかと思わされています。昨秋、執筆者は『松江バンドの歴史と信仰―バックストンの日本宣教の意義―』（いのちのことば社）を出版し、その中で日本聖化協力会の歴史と信仰に触れさせていただきました。

本田弘慈、長島幸雄、朝比奈寛、畑野基先生方が、「聖化の旗を高く掲げ」、日本聖化交友会を起こされましたが、その時の情熱、その時の信仰告白などを思い起こし、「聖徒たちにひとたび伝えられた信仰」（ユダ3）のために戦う者とさせていただきたく願っています。

キリスト教史における聖化運動は一八世紀のウェスレーらのメソジスト運動に顕著に見られます。すべての者は救われる必要がある。すべての者は救われ得る。全ての者は自分が救われたことを確証できる。すべての者は最高のところまで救われ得る。すべての者は仕えるために救われ、すべての救われた者は他の救われた者と一つになることができる。すべての世界は私たちの教区である。この「六つのすべて」こそは、ＪＨＡの共通の原点です。

今年3月、「聖化フォーラム」が開かれましたが、そこでは「明日を拓くＪＨＡ」の中堅や若手の先生方が素晴らしい発題をして下さいました。この時代に「聖化をいかに語るか」のテーマの下でそれぞれの牧会伝道の現場で取り組んでいる真摯な姿に感動したことです。次回の聖化フォーラムも同様の視点から、さらに掘り下げ、明日を拓く先生方が、はつらつと発題をされることでしょう。

記念大会でのレセプションでの集合写真は、「わたしたちがひとつであるように、彼らも一つになるためです」（ヨハネ一七・22）の聖句が、そこに反映されているように思わされます。一つになって聖化運動を進めようではありませんか。

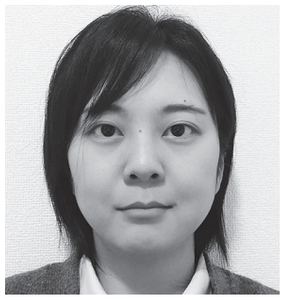
もくじ

●巻頭言メッセージ…… p.1
● 2026年聖化フォーラム　講演 …… p.2
● 2026年聖化フォーラム　講演 …… p.3
● 2025 年ロン・スミス博士を迎えて …… p.4
●聖化大会日程 …… p.4
●書籍案内、編集後記…… p.4

聖化71_2026_07.indd 1　2026/07/31 23:19

テーマ「聖化を教会の現場でどう語るのか?」

今回のテーマは私たちにとって生命線とも言える、普段の教会の営みで「聖化」をいかに語るか、です。次世代を担う先生方４名から、忌憚のない生の声を聞かせていただきました。それを受けて、私たちならどう語るでしょうか。



自らの証しとして語る聖化

日本ホーリネス教団　秦野教会牧師
照内 幸代

聖化フォーラムでは、「教会の現場で聖化をどう語るか」について、私自身の経験をもとに語らせていただきました。

私はホーリネス教団の教会で育ちましたが、教会学校のキャンプで、「カウンセリング・タイム」という先生と一対一で祈る時間に、罪の告白を求められることを苦痛に感じていました。キャンプスタッフが私に期待している「正解」を答えて、その時間を早く終わらせようとするようになり、その経験からキャンプそのものに苦手意識を抱くようになってしまいました。一方で、信仰によって人生が変えられた大人たちの証しを聞くことは大好きでした。証しは私にとって「聖化のメッセージ」として最も印象深いものとなりました。

その後、召命を受けて聖書学院に入りましたが、実習先で「きよめの証し」を求められ、自分が「きよめとはなにか」を十分理解していないことに気づかされました。神様が不十分な私を召してくださった感謝を証しとして実習先の牧師に提出したところ、「自我の磔殺」が内容に無いため、書き直すよう求められました。この出来事は幼少期の「正解を言わなければならない」苦い経験を私に思い起こさせ、「人を傷つけないきよめを語りたい」と願いながら牧会に携わるようになりました。

しかし牧会を始めると、多くの信徒が聖化のメッセージを必要としていることを実感しました。日々罪や弱さを覚えながらこの社会に生きている人たちにとって、神様が何度でも赦し、きよめ、新たに世へ遣わしてくださるという福音は大きな慰めであるということです。大切なのは、外から悔い改めを強いることではなく、神の愛に触れた結果として内側から生まれる悔い改めであり、その上できよめと派遣が語られることであると気付かされました。

今遣わされている教会の礼拝では、牧会祈祷の時間に、会衆とともにきよめを願い、神様の愛する子・キリストの弟子として遣わされることを祈るようにしています。今後も礼拝における祈り、日々の聖書のみことば配信などを通して、日々の悔い改めときよめを励ますメッセージを語り続けていきたいと考えています。



聖化のことばを翻訳する

活けるキリスト一麦教会牧師
古田 大展

私が仕える一麦教会では、聖化を「自我の磔殺」や「自分に死ぬ」と言い表してきました。しかし今、通学中の小学生が友だちに「私、昨日『自我の磔殺』しちゃった」と話していたら、それは不気味を超えて恐怖に近いでしょうし、また、若いお母さんが子どもを布団に寝かしつけながら、「ママね、昨日、自分に死んだの」と話したら、もうその子は眠れなくなることでしょう。これらの専門用語は現代の若者には伝わりづらいもの。後輩に専門用語を教え込むのではなく、先輩側が聖化の恵みを再定義し、伝わる言葉へと変える努力が必要かもしれません。私は「自分に死ぬとは」と問われた際、とっさに「神を愛し、人間を愛すること」と答えたことがあります。自らの肉や欲望に死んで神と隣人を愛するとき、愛によって聖い歩みが与えられ、イエスに似る者とされる聖化の恵みがある、と考えたからです。

また、若い世代には「～してはいけない」という禁止命令ではなく、「だから～しよう」という積極命令がよく理解されるように見受けられます。以前、保育士は子どもたちに「走らないで」ではなく「歩いて」、「こぼさないでね」ではなく「両手で持ってね」、「よそ見しないで」ではなく「先生の方を見て」、「叩かないで」ではなく「お口でお話してね」と教えると聞きました。なるほど、エペソ四・25～32は「盗んじゃダメ」と教えながら、「困っている人に分けてあげて」、「そのために自分で仕事をして」と積極命令で語っています。また、「嘘つかないで」は「本当のことを話そう」、「悪いことばを使わないで」は「人を成長させるやさしいことばでね」、「怒って罵らないで」は「親切にしてね」とも置き換えてくれています。では、きよめの信仰に立つ私たちは、「高ぶらないで」や「よそ見をしないで」を教会にどうお伝えできるでしょうか。

聖化は背中で語るもの、私はそう思ってきましたが、現代に聖化の恵みを継承していくには、さらにもう一歩踏み込んで言葉を紡ぐ必要があるのかもしれません。その一つのアイデアとして、「専門用語以外のことばに翻訳すること」と「禁止命令を積極命令に置き換えること」にトライし続けています。

第10回JHA聖化フォーラム

日時　2026年3月2日（月）午前
会場　インマヌエル中目黒教会　オアシスホール
＊対面&リモート併用で開催



聖化は教会の旅路
――途上の共同体として生きる

東京フリー・メソジスト教団　南大沢チャペル牧師
飯田　岳

なぜ聖化を語る必要性があるのかと、今回の課題に関して私は考えました。私の答えの一つは、聖化は個人の内面に留まらず、教会のビジョンであるということです。エペソ人への手紙四章13節に教会を表すからだのメタファーがあります。「互いが器官であって多様性があって尊重される」というコリント的なメタファーだけではなく、エペソ的なからだのメタファーも大切です。エペソ的なメタファーとは、「からだは一緒に成長する」ということです。「一人の成熟した大人になって、キリストの満ち満ちた身丈にまで、一緒に成長する」のが教会です。私たちは体の各器官で、一つの部位だけが局所的に発達することはできません。We grow together ――私たちは一緒に成長します。私たちは、個人の内面だけが聖化されるのではなく、共同体の成熟として聖化の恵みにあずかります。そして教会は途上性を最も感じさせる共同体です。地上に置かれている限り、全ての教会が途上にあり、その旅を一緒に歩みます。

最近家族三人で長崎に行って、新鮮な感動を受けて帰ってきました。プティジャン神父による270年ぶりの喜びの信徒発見のあとに、浦上四番崩れと言われる大迫害がありました。考えさせられたことは、長崎のクリスチャンたちは、全員が長崎に帰還するまで6年かかったこの迫害を、現在に至るまで「旅」と呼んでいることです。「迫害」ではなく「いのちの危険」ではなく、「巡礼の旅、教会の旅」と彼らは呼びます。これは教会の一つの成熟であり、知恵です。彼らは旅と呼ぶことによって、迫害の中に信仰的な意味と希望を見出して耐え抜くのです。

私は今、私たち日本のホーリネス系の教会が通っている道も、まさに「旅」だと思います。私たちには明らかに宣教の課題があります。しかしそれをただ困難と呼ばず、旅と呼びたいのです。今私たちが宣教的に困難な時代を送っているならば、それは教会の聖化への旅路なのです。キリストの満ち満ちた身丈にまで一緒に成長するという、私たちの聖化の信仰は、これからの時代にますます求められていくと確信しています。



聖化を語る骨格はこれ！

日本宣教会狭山キリスト教会牧師
小坂 嘉嗣

教会で聖化を語るにあたり、次のことに留意します。

(1) 学んで確信し、自分の経験から頷けることを自分の言葉で語る。(2) 大方の信仰者の実際の経験に落とし込めることを語る。(3) 聖書の御言葉に明確な根拠、裏付けがあることを語る。(4) 聴く人に平易で、分かり易いように語る。

私が理解している聖化の段階の全体像は次のようになります。

1　**初時的聖化**＝主イエスを受け入れ新生した際、内に神の聖なる性質が与えられる段階（肉の性質、罪の性質も同居している）。2　**接近的聖化**＝新生後、御言葉や聖霊により徐々にきよめられていく段階。聖霊と御言葉の光にどのように応じるかによって促進、あるいは停滞、堕落もする。3　**転機的聖化**（全的聖化）＝知れる罪をすべて悔い改め、自分自身を聖霊のご支配に全く明け渡し、「私はキリストとともに十字架につけられた」（ガラテヤ二・19）、もはや私は主のものである（Ⅰコリント六・19、20）、「御子イエスの血がすべての罪から私たちをきよめてくださる」（Ⅰヨハネ一・7）ことを信仰もって受け留める。これを「きよめの信仰に立つ」「きよめられた」とも呼ぶ。この恵みは自分自身を聖霊のご支配に明け渡すことによってもたらされる恵みである故に、その条件から外れると失われる。4　**継続的聖化**（成熟）＝毎瞬毎瞬、自分自身を主に明け渡し、みことばに従うことでキリストに似た者へ成長していく段階。5　**栄化**＝主の再臨の時に、完全にキリストに似た者とされる最終段階。

聖化は神との関係から説くと分かり易いです。自分が中心で、神がそれに仕えるような関係のクリスチャンではなく、神が主で、私が主に仕える関係のクリスチャン。すなわち、主イエスを救い主としてだけでなく、人生の主とするように導き、励まします。私が主となるときに罪が入り込みますが、神が主である歩みが繰り返されるときに成熟したクリスチャンとなっていきます。きよめを教理として知ることと、きよめの信仰に生きることは別物ですので、きよめの信仰に立った後も毎瞬毎瞬主に自分自身を捧げ、御霊の導きに従い続けるよう励ますことが重要です。



JHA創立40周年記念大会　2025年10月13日(月)

2025 年秋の聖化大会には、オハイオ・クリスチャン大学学長の重責にあるロン・スミス博士（Dr. Rom Smith）をお迎えしました。折しも JHA40 周年記念の年でもあり、関東聖化大会で力強く聖化の説教を語っていただきました。その後、スミス博士は日本を縦断する形で、各地に聖化のメッセージを届けてくださいました。



2026年に開催される各地の聖化大会

北海道聖化大会	5／19、20	佐藤義則師	
宮城聖化大会	9／21	鎌野善三師	仙台青葉荘教会(ネット併用)
山形聖化大会	9／23	古波津保秀雄師	COG酒田キリスト教会
栃木聖化大会	5／17	峯野龍弘師	ウェスレアン・ホーリネス塩屋キリスト教会
関東聖化大会	10／19、20	岡田順一師、小坂嘉嗣師	インマヌエル中目黒教会
関東青年大会	5／31	古波津真琴師	東京フリーメソジスト小金井教会
東海聖化大会	10／18	杉本優香師	インマヌエル名古屋教会
遠州聖会	2／14	荻野倍弘師	インマヌエル浜松教会
ジョン・ウェスレーに学ぶ会	10／30	ウェスレーの説教を読む	ナザレン教団大阪桃谷教会
岡山聖化大会	10／25	丸山孝治師	日本イエス・キリスト教団香登教会
九州聖化大会	4／29	横山法路師	

お近くの聖化交友会にご加入ください

聖化交友会には教団、教会、個人でお加わりいただけます。聖化の恵みを私たちの心に、そして教会に、さらにお住まいの地域に広げていきましょう。詳細は各地域の聖化交友会にお問い合わせください。http://jha.christ.gr.jp/

北海道聖化交友会／宮城聖化交友会／山形聖化交友会／栃木聖化交友会／関東聖化交友会／東海聖化交友会／ジョン・ウェスレーに学ぶ会(大阪)／岡山聖化交友会／四国聖化交友会／九州聖化交友会

日本聖化協力会　評議員名簿（50 音順、敬称略）

秋山直光、飯田 岳、宇賀神努、大友英樹、岡 摂也、荻野倍弘、川崎 豊、工藤弘雄、ブランドン久芳、小泉 創、小坂嘉嗣、古波津保秀、坂本憲子、佐藤信彦、関 昌宏、田中多恵子、千代崎備道、坪内信治、新田栄一、畑野順一、馬場誠一、ロビン・ホワイト、峯野慈朗、ステファン・モリス、矢木良雄、吉村和記、カイリー・ラウ、日山かおる、姜讃聲

会費納入のお願い

加盟教団・諸団体：年会費 10,000 円（一口）、個人 3,000 円
振込先：みずほ銀行 九段支店（普）0626657 日本聖化協力会
ゆうちょ銀行　00180－2－281255 日本聖化協力会

聖化の説教 全3巻

旧約編2巻
新約編1巻



旧約編 I

定価 1,650 円（税込）

創世記からエステル記まで、聖書の英雄的な行動や惨めな失敗、信仰の輝きが…。



旧約編 II

定価 1,650 円（税込）

ヨブ記からマラキ書まで、知恵文学、詩歌、預言者によって語り継がれた聖化の恵み。



新約編

定価 1,980 円（税込）

新約聖書の各巻から 25 の説教で聖化の恵みに触れることができる待望の説教集。

編集後記

聖化 72 号をお届けします。昨年 10 月に JHA 創立 40 周年を記念し、ロン・スミス博士をお迎えして式典を行うことができました。振り返ると怒濤の 40 年だったように思います。今回は 3 月に開催された「聖化フォーラム」の特集号となります。次の世代へ聖化のメッセージをどのように伝えるか、重たいテーマを扱ったフォーラムでした。ぜひ要旨をお読みください。4 名のパネラーの先生方に心から感謝申し上げます。（矢木）

聖化　No.72　2026 年 8 月 10 日発行

発行　日本聖化協力会　101-0062　東京都千代田区神田駿河台 2-1　OCC ビル　携帯　080-4146-4221（事務局：古波津美嗣）
E-mail　holiness19851202@gmail.com　URL　http://jha.christ.gr.jp/　　編集担当：矢木良雄／錦織 寛